

やまがた絆の森 南陽・『草木の森』 令和6年度の活動（夏季・秋季）

「やまがた絆の森」(南陽・『草木の森』)における令和6年度の活動は、夏季(7月4日～7月5日)と秋季(10月10日～10月11日)の2回実施しました。



夏季は、老朽化した案内看板を更新し現地に設置しました。イベントの冒頭に、案内板をデザインしていただいた方をお招きし、除幕式を行いました。施設関係では、不安定化した四阿の踏台も製作し、更新しました。また、植栽地及び歩道の刈払い、クズ処理、スギ林の除伐を継続して実施した他、生長著しいカラマツの枝払いやハンノキの除を行いました。歩道には、雪による倒木が数本あり、チェーンソーで玉切って歩道脇に整理しました。恒例の研修会は県立博物館学芸課から沢和浩氏を講師に迎え、絶滅危惧種を中心とした山形県の植物相についてご講演を頂きました。

秋季は、夏季同様に植栽地及び歩道の刈払いに加え、植栽木の生長量調査を行いました。研修会は、山形県森林研究研修センターから渡邊潔氏をお迎えし、仁田沼で確認されている動植物種と山形県のレッドデータブックから生態系保全の重要性について学びました。関連して弊社からは、民間団体が生物多様性の保全に取り組む「自然共生サイト」認定制度の概要を説明しました。



夏季研修会

夏季イベント参加者大集合